

受験番号

一					
五	四	三	二	一	
五 (例) 「むっちゃ」「とことん」「どこまでも」ということばに文字数をかけることで、何かに時間をかけてどこまでも没頭するプロフェッショナルの様子がよく表現されている。	四 (例) 詠み手が描きたい対象を絞ることで、限られた文字数の中に情報を詰め込みすぎずに、作者の描きたいことには文字数をかけて表現した短歌。	A 視線	エ	a	きわだ(つ)
		B そして		b	初心
				c	原稿
				d	ほど
				e	着地
5 8 点					

一 ③×5 ⑮点 二 ④点 三 ④×2 ⑧点 四 ⑮点 五 ⑮点 計58点

二				
四	三	二		一
				a のみ（と） b より
『孟子』を読んでいないために、人は性善であり、妻よりも父母を軽んじる道理はないことを分かっていること。	妻のためでなくていったい誰が父母のためにすすんで出かけるのでしょうか。（いや、決して出かけません。）	②訪問者の傘の柄には清河郡と明らかに書かれており、清河郡には張という姓が多いこと。	①今日は、東北の風が吹いており、訪問者は西を向いてやってきたため、雨で肩から背中が濡れていたこと。	

4 2 点

一 ③×2 ⑥点 二 ⑧×2 ⑮点 三 ⑧点 四 ⑮点 計42点

その1

合計

受験番号

三							
七			五	四	二	一	
	が	み	③	歳をとった尼で、 ひどくみすぼらし そうな尼が	ひがごと	a	
	低	す	ア			活用の種類 サ行変格 活用	
	い	ぼ					
	人	ら					
	の	し					
	中	い	④			ウ	活用形 連用 形
	に	老					
	も	尼					
	、	が					
	立	詩					
	派	の	六		尼	三	c
	な	間					
	人	違	活用 ク 活用 活用形 連体 形				
	が	い					
	紛	を					
	れ	指					
	て	摘					
	い	し					
る	た						
と	よ						
い	う	菅三位の亭					
う	に						
こ	、						
と	身						
	。	分					

5 0 点

一

③×4

⑫点

二

④点

三

④点

四

⑧点

五

④×2

⑧点

六

④点

七

⑩点

計50点

四		
三	二	一
○（例）自分の意見とは異なる立場からの反論を考えて書く欄を設ける。	○（例）「集めた資料」の項目に、出典を記載した例を示したり、出典を記載する欄を追加したりする。	○（例）グラフや図そのものが信頼できるのかを確かめるため、情報源や調査の時期を調べる。 ○（例）資料が一部だけではなく、前後や全体を見て筆者の指摘が本当なのか考える。
○（例）あえて、インターネットだけの情報で書かれている意見文を示し、「妥当性があるといえるか」「信頼性があるといえるか」を考えさせる。	○（例）個人で考える時間を確保して、グループでの話し合いの後に、再度個人で考えをまとめ直す時間を確保するような展開で行う。	○（例）「信

一

⑩点

二

⑩×2

②0点

三

⑩×2

②0点

計50点

その 2